第９回食育活動表彰
審査委員特別賞

秋田ノーザンハピネッツ株式会社

秋田県
活動期間：3年

プロスポーツチーム初となる、常設のこども食堂「みんなのテーブル」の運営

こども食堂「みんなのテーブル」の運営

「みんなのテーブル」は、2021年10月に秋田市で開設された常設のこども食堂です。主に秋田市内のひとり親世帯や地域の子どもたちを対象に、温かい食事を提供しています。この取組は、地域の多くの個人や企業の皆さまからのご支援に支えられて運営が成り立っています。毎週4日営業で、管理栄養士が監修した栄養バランスの取れた日替わりメニューを提供し、子どもたちが元気に過ごせるようサポートしています。また、こども食堂は単なる食事の提供だけでなく、地域の子どもたちにとって「明るく」「楽しい」居場所となるような環境作りを大切にしています。今後も、地域の皆さまと一緒に、この活動をさらに広げ、支援の輪を広げていくことを目指してまいります。

「みんなのテーブル」店内

日替わりで
バランスのとれたメニュー

「地域で育てる」こども食堂のモデル化を目指して

「みんなのテーブル」は、多くのボランティアや農家の方々、地域団体、企業の皆さまに支えられて運営されています。私たちは、地域全体のこども食堂の持続化を目指し、地元企業と連携して秋田県産豚「桃豚」の提供ネットワークを構築しています。ほかにも、地元の食材を積極的に活用することで、地産地消の取組にもつなげています。また、地元小学校と連携し、選手たちと一緒に苗植えや収穫体験を行うことで、子どもたちに食の大切さや農業の重要性を伝えることのできる食育の活動も実施しています。プロスポーツチームだからこその影響力や広がりをつくれる強みを活かした地域・社会とのつながりの活動を通じてこども食堂の運営支援を続け、食育を通じて未来の担い手を育てていきます。

毎月桃豚1頭分をご寄贈
いただいております

地域の小学生と選手による
野菜の苗植え

ブースター（ファン）や
パートナー企業様と連携した取組

試合会場内でのフードドライブの実施や、こども食堂での餅つき体験、秋田県産米を使用した商品の開発など、食を通じた多彩な活動を展開しています。フードドライブでは、試合観戦に来られた方々に食品の寄付を呼びかけ、地域の困っている方々を支援しています。また、こども食堂での餅つき体験を通じて、子どもたちに食文化の大切さを伝えています。さらに、秋田県産米を使用した商品の開発で地元の農産物を活用し、地域経済のサポートを目指しています。加えて、自社のビール事業で排出される麦芽粕を肥料として再利用する取組も行い、循環型社会の実現に貢献しています。これらの活動を通じて、地域の社会課題解決に貢献しています。

試合会場で実施する
フードドライブ

こども食堂での餅つき体験

お米を使用した新商品の開発

地ビールの麦芽粕の肥料化

第９回食育活動表彰において、「審査委員特別賞」をいただき、心より感謝申し上げます。こども食堂の取組においては、これまでに延べ12,000人以上に食事と居場所を提供することができましたが、これは決して弊社一社の力だけではなく、共に活動してくださる皆さまのおかげです。今後も、スポーツチームの特性を活かし、秋田県の地域・社会課題解決に向けた取組を続けてまいります。

秋田ノーザンハピネッツ株式会社
代表取締役社長　水野勇気